



メンバー募集

現在幅広い年代のメンバー40名で運営しています。
それぞれのライフワークに合わせた働き方、利用者の方との交流会やメンバーとの交流会など楽しい行事もみんなでお話し合っています！メンバーの働き方の一部を紹介します。

一緒に働きませんか？

例えば・・・子育て中のAさんの場合

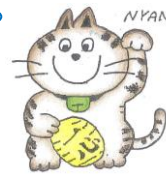
隔週で週3回 午前中2時間位
《子どもが帰ってくる間の数時間
働いています》

例えば・・・自分の時間があるBさんの場合

週4日 1日5時間位
《午前に仕事の時は午後趣味の時間に・・・》

ヘルパーの
資格眠っていませんか？

例えば・・・何かを始めたいと思って入会したCさんの場合
最初は無理なく少しずつ、ペースが出来たら
時間数を増やして・・・
《今は仕事に旅行に充実した日々です！》



*** メンバー募集説明会のお知らせ ***

2014年11月13日(木) 10:00~12:00
11月15日(土) 14:00~16:00
両日共事務所にて開催します。事前に事務所までご連絡下さい。
《連絡先：58-7086》

<賛助会員募集>

一心の活動に賛同し、資金面で援助していただける賛助会員の方を募集しています。『ねこの手』を発行した時には送付致します。

会費：一口1,000円 (1年間)
《連絡先：58-7086》

<編集後記>

猛暑が終わり良い季節になりました。無事に記念号が出来て嬉しく思います。また楽しい紙面をお届け出来ますように、メンバーで力を合わせて頑張ります。次に向けてジャンプ!! (*^_^*)

記念号

<一心広報紙>

ねこの手

事務所でお仕事～



十間坂に事務所を構え12年半近く経ちました。相談はいつでもお受けいたします。お立ち寄りください。

特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブ 一心

茅ヶ崎市十間坂1-5-49
TEL: 0467-58-7086
(ケアマネジャー) 84-0651

E-Mail: chigasaki@wco-issin.jp
URL: <http://www.wco-issin.jp>

- ★一心独自事業
- ★介護保険訪問介護事業
- ★介護予防訪問介護事業
- ★障がい福祉サービス事業
- ★介護保険居宅介護支援事業

<発行責任者>長谷 悦子
<発行日> 2014年10月4日

ワーカーズ・コレクティブ ってなあに？

私達が暮らしている地域で心豊かに暮らす為に「あったらいいな」と思う「もの」や「サービス」を自分たちの力で作る。

「雇う・雇われるの関係」ではなく、「自分たちで考え、自分たちで決める」という納得できる進め方。

賃金と労力と知恵を全員で出し合い、全員が経営に責任を持つ。

そんな働き方のことです。

ねこの手の歩み



1996年5月から歩み始めた一心ですが、あっという間に18年半が経ちました。会報紙の名称を何にしようかと考えた頃はみんな若かったな…と振り返り、各号を読み返しています。左に掲載しているのは初月号(1996年11月1日発行)、まだワープロの時代でした。手書きを加えて味のある号に仕上がっています。懐かしい〜と思うのは2000年前から居るメンバーが中心かもしれませんね。号が進むにつれ、題字や一面を飾る絵、掲載記事をご利用者の方にお願ひし、ご協力頂いています。29号から見やすい紙面作りを念頭に置き、字を大きくしてお届けしています。ご利用者の方にはカラー版をお届けできるようにもなりました。これからも心を込めて担当者で“ねこの手”を作成して参ります。お手元に届きましたら、これからも皆様からの温かい声をお聞かせ下さい。宜しくお願ひ致します。

「困った時にはお互いさま」の太助から始まった一心の活動ですが、年々事業も拡大していくにつれて、「ねこの手」の内容も盛りだくさんとなってきました。ケアに入ってからワーカーからの声や、利用者様からの声、研修報告、交流会の様子など、読み返してみると懐かしく、その当時の記憶が蘇ってくるようです。ケアに入った時に、利用者様の趣味の作品や特技を写真に撮らせていただき、掲載したこともありました。(N)

50枚のねこの手、思い出一杯!

介護保険がスタートした2000年よりさかのぼる事4年。1996年5月27日『ワーカーズ・コレクティブ一心』が設立されました。

5か月後、ねこの手第1号が発行されています。設立直後の熱い思いとは裏腹に、鳴らない電話への切ない思いがつづられていました。年1回の発行ゆえ、2号が出るころには、あっという間に、1周年を迎えています。4年目を迎えると、臨時号を含め年3回の発行へ。介護保険へ参入し、NPO法人格を取得、事務所の移転と常に前へ、前へ。新しい事へ挑戦している一心の歴史を感じる事ができました。(K)

ねこの手1号から16号まで続けて読んでみました。記念すべき1号は1996年11月、16号は2003年3月、この7年間でワーカーズ・コレクティブ「一心」からたすけあいW.Co「一心」そしてNPO法人W.Co一心へ、事務所も茅ヶ崎そして十間坂へと、利用者報告も太助会員のみから介護保険利用者の数字が載るようになりました。劇的に成長し変化していった7年間だったのだと思いました。

ただ1つ・・・お互い様の精神で利用者の方の気持ちを大切に、大事に大事にケアをしていく。その気持ちだけは全く変わっていない、どの号を読んでも、その気持ちは伝わってきました。(W)

ねこの手の発行に当たり掲載記事にご協力を戴いた皆様ありがとうございます。中には天命を全うされ旅立たれた方もおられます。いろいろな表情が思い出されます。一心の歴史の一ページです。

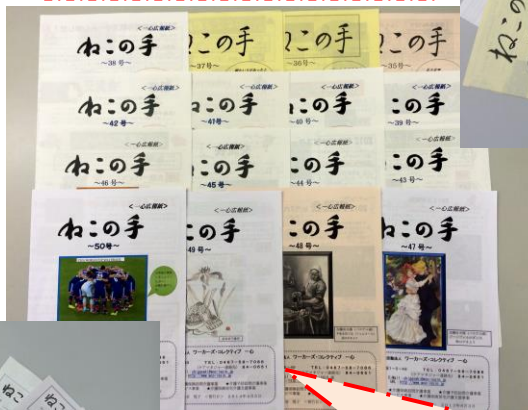
1号～16号
(1996年度～2002年度)



「ねこの手」という名前には、ねこの手も借りたいほど忙しい事業所になれるように…と、そんな思いが込められています。

ご利用者の方からの積極的な投稿、いつでも受け付けております。思い出話、短歌、俳句、絵、写真、他、ご自宅へお伺いしている担当者へ相談下さい。

35号～50号
(2009年度～2014年度)



17号～34号
(2003年度～2008年度)

今もお元気な102歳のU様の記事(29号94歳)には、とても反響がありました。

2009年、35号目を発行、題字も利用者様の筆書きの文字になりました。「きずな」のコーナーが始まり、利用者様からの寄稿を掲載するようになりました。

2010年からカラー印刷を開始、利用者様の写真や絵などの作品がカラーで表紙を飾るようになり、好評を得ています。

2011年、大きな出来事がありました。東日本大震災です。茅ヶ崎から故郷福島へ転居した元メンバーから、被災地の様子を知らせる記事が掲載されました。紙面にも計画停電・節電など震災後の大変な生活状況を伝える言葉が見られます。

2012年、一心のホームページがリニューアルされ、ねこの手の紙面もパソコンで見ることが出来るようになりました。2013年ごろから異常気象による災害が増え、台風・大雨・大雪などの言葉が紙面に毎回登場します。

2014年、ねこの手はいよいよ50号を発行。ワールドカップの様子を現地ブラジルで撮影し、メールで送られてきた写真が表紙を飾りました。手書きで始まったねこの手も、今や外国で撮影した写真をタイムリーに掲載出来るようになり、時の流れを痛感します。(U/F)

♥ 今後も楽しい紙面作りを心掛けて行きます。いつの日かまた区切りの記念号をお届け出来ますように♥